

新年度を控え、転勤などで引っ越しをする人も多くはす。業者選びや転出・転入時の準備で、どこに注意したら、お得で円滑な引っ越しができるのか。情報サイト「オールアバウト」で引っ越し情報のガイド役を務める森眞奈美さんの助言をもとにコソをまとめた。

(経済部 武田泰介)

転居先の場所や日程が決まったら、早めに引っ越し業者と連絡、見積もりなどの準備を始めた。2〜3月は業者の「繁忙期」で、希望日を押さえられなくなる恐れもあるからだ。

業者選びの注意点は「どんな引っ越しをしたいか」を考えること。「キズや破損を避けたい高価な荷物があるなら、梱包技術がしっかりした大手を選ぶのが無難。さほど高い荷物がなく、料金を抑えたい人は地域の中小業者を選ぶのもいい」と森さんは話す。単身者や学生で比較的規模が小さい引っ越しの場合、軽トラック配送の個人事業主が宮む

新生活へ賢く引っ越し

見積もり比べ業者選び

転居当日にも新聞配達

「赤帽」に頼むのも一策だ。ほしい」と助言する。事前見積もりは大手・中小を交ぜ、複数とっておくのが基本だ。その際、早くも荷造り用の段ボールを持ち込む業者も多いが、これを許すと、後で断りにくいので、確定する前なら受け取りは断ろう。「今、決めたら安くする」というのも常套句だ。森さんは「即答は避け、信頼できる業者を見極めた上で契約をして

転居先での近所へのあいさつは、タオルやせっけん



引っ越し業者は訪問見積もりを受け、じっくり検討してから選びたい(日本通運提供)

森眞奈美さんが教える「引っ越しの節約術」

- 複数の業者に訪問見積もりを頼む
- 割安な引っ越し日を選ぶ
- 不用品は思い切って処分
- 他社の見積書を見せたり、「もう1社見積もりに来る」と告げれば、値引きの材料になる
- 大手ばかりでなく、中小の業者も交ぜると良い
- 一般的に土日より平日の方が料金が安い
- 作業時間を指定しない「午後便」や、業者の都合に日を合わせる「フリー便」ならさらに割安
- 引っ越しはモノと決別する良い機会
- 行政に頼めば粗大ゴミも数百円で回収してくれ、荷物の量も減る

百貨店の実力

渋谷

最先端の文化・ファッション

「1」と記された大きなボード

2月中旬、こんなで徹底調査の上、店側が男性に「女の欲望」を徹底調査、20〜30歳代のOLを呼び込むと結成された同年代編集売り場を3か所も設置し、2007年の全面改装で、バ

「1」と記された大きなボード